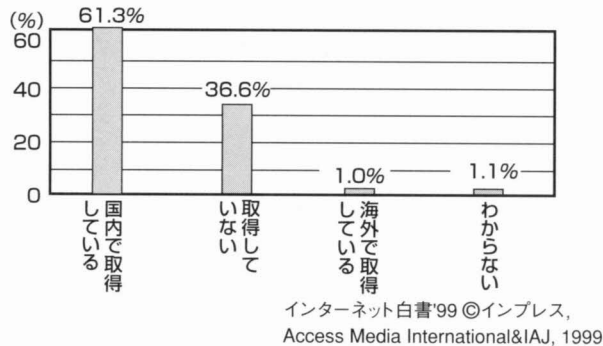


第3章 企業

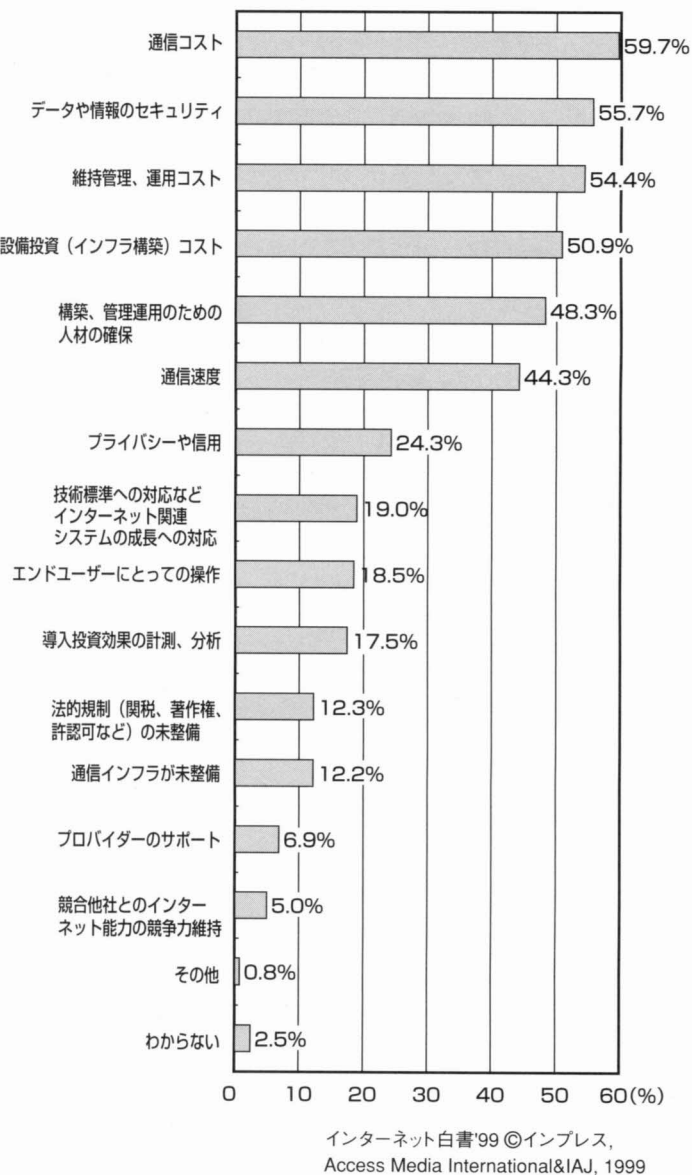
ドメイン、サーバー、今後の課題

3分の1が企業ドメイン取得、社内にウェブサーバー設置が4割

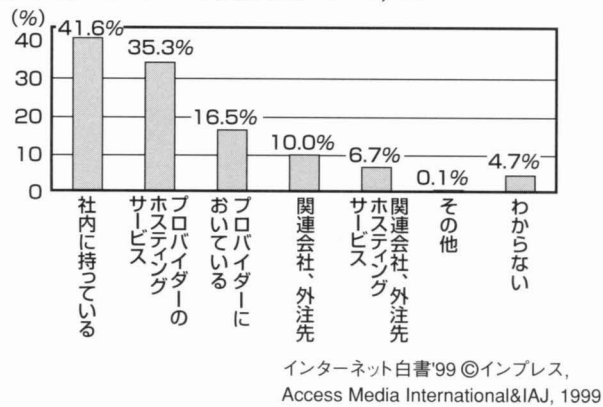
資料1-3-11 自社ドメイン取得状況 N=1,155



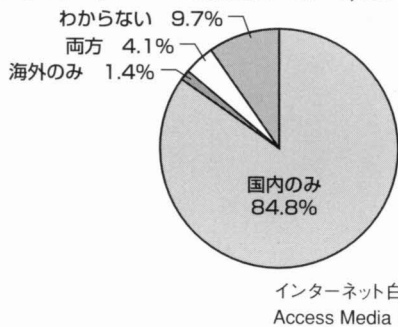
資料1-3-14 今後の課題 N=1,155



資料1-3-12 サーバーの設置場所 N=1,155



資料1-3-13 サーバーの設置国 N=1,155



解説

各企業のドメイン取得状況を見ると、取得しているのは全体の約3分の2である。

従業員規模別では規模が大きいかほど取得率が高い傾向がみられ、特に10,000人以上の超大規模企業では88.9%がドメインを取得している。一方、サンプルは小さいが0~9人規模の事業所での取得率は半分にすぎない。また、企業の海外でのドメイン取得はほとんどなく、わずか1.0%である。

ウェブサーバーの設置場所(複数回答)は自社内が41.6%と最も多い。しかし「プロバイダーのホスティングサービスを利用している」(35.3%)をはじめとして社外に設置している企

業は過半数を超えている。

本調査では、海外向け情報発信が目的である場合や知的所有権が日本より整備されているという理由などから、海外でウェブサーバーの設置するケースも考えられるとして、初めてサーバーの設置国を複数回答できている。その結果、国内との両方を含めて海外に設置している企業も5.5%あり、先の海外でのドメイン取得数を上回っている。

また、インターネット利用の全般にわたる今後の課題について複数回答で聞いている。ここでは当然ながら、「通信コスト」(59.7%)や「維持管理、運用コスト」(54.4%)、「設備投資、

(インフラ構築)コスト」(50.9%)などのコスト関連課題が上位だが、2番目に「データや情報のセキュリティ」(55.7%)もあげられている。これは特に企業ではインターネットの利用が進むのに比例して問題となり、具体的な対策が継続して求められることになる。

他に「構築、管理運用のための人材確保」(48.3%)、「通信速度」(44.3%)までが企業にとっての主要な課題といえる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp